

懐かしい江戸へいらっしゃいの会（江戸の会）録

回	開催日	演目	語りべ
第1回	H. 4.12.13	・ 刀言葉について ・ 佃島について ・ 落語（山崎屋） ・ おはなし	佐藤 嘉佑 三橋 秋彦 佐藤 嘉佑 長谷川 龍生
第2回	H. 5. 1.24	・ 地獄打ちの話 ～表具師の最高の技術～ ・ 江戸前にぎり鮨の話	秋山 多津雄 鈴木 安治
第3回	H. 5. 3.28	・ 宮大工について ・ 阿弥陀さまの話	針山 忠直 長谷川 龍生
第4回	H. 5. 4.25	・ 僕の人生ノートから ・ 四條流包丁式	秋山 多津雄 山崎 睦男
第5回	H. 5. 5.30	・ 僕の人生ノートから ・ ガラスについて	秋山 多津雄 福圓 富信
第6回	H. 5. 7. 4	・ 僕の人生ノートから ・ 新内？ おれは そんなもの食ったことねえ ・ 慶安御触書について	秋山 多津雄 小野 英雄 長谷川 龍生
第7回	H. 5. 9.12	・ 僕の人生ノートから ・ 浮世絵と印象派	秋山 多津雄 継岡 リツ
第8回	H. 5.10.31	・ 僕の人生ノートから ・ 築地妙泉寺界隈の珍しい話	秋山 多津雄 長谷川 龍生
第9回	H. 5.12.12	・ 僕の人生ノートから ・ 「佃島住吉神社大祭」	秋山 多津雄 (映画)
第10回	H. 6. 1.30	・ 僕の人生ノートから ・ 私と玩具	秋山 多津雄 外原 淳
第11回	H. 6. 3.27	・ 僕の人生ノートから ・ 築地界隈あれこれ譚	秋山 多津雄 近藤 正弥
第12回	H. 6. 4.24	・ 僕の人生ノートから ・ 江戸の雅楽	秋山 多津男 安倍 季昌
第13回	H. 6. 7.31	「おもしろく、たのしく、 ためになる江戸の俳諧（句）」	長谷川 龍生
第14回	H. 6. 9.18	「健康漫談」	君島 善次郎
第15回	H. 6.12. 4	「畳（たたみ）の美学」	荒井 将佳
第16回	H. 7. 2. 5	「新内」	鶴賀 寿美代
第17回	H. 7. 3.26	「江戸しぐさ」	越川 禮子

第18回	H. 7. 6.11	「粋の髓まで江戸小唄」	田村 隆枝
第19回	H. 7.10. 1	「水いきいき、仏ぶつぶつ 江戸は出世していく」	清水 龍光
第20回	H. 8. 1.21	「吾がジャズよ・永遠に」	篠原 國利
第21回	H. 8. 3.31	「仏と仏像と信仰と」 江戸の人々と仏像の出会い	清水 龍光
第22回	H. 8. 6.23	「蘭陵王」雅楽の世界	安倍 季昌
第23回	H. 8.10. 6	「谷中墓地のつわもの どもがものをいう！」	三橋 秋彦 長谷川 龍生
第24回	H. 9. 2. 2	「東京の獅子舞は楽しく跳ねる」	唐沢 勝敏
第25回	H. 9.12.14	「百人一首・恋の世界」	神野藤 昭夫
第26回	H.10. 2. 8	「江戸の風」について	小関 章
第27回	H.10. 4.26	「お江戸日本橋物語り」	登 芳久
第28回	H.10. 6.28	「野の草の生命をみつめて暮す」	山本 紀久
第29回	H.10.10. 4	「水を汲むように 庶民の思想は育っていく」	清水 龍光
第30回	H.10.12.13	「『写楽』という絵師の 謎を解くおもしろさ」	山下 実
第31回	H.11. 2. 8	「伝承の中こそ、 革命の響き在り」薩摩琵琶	友吉 鶴心
第32回	H.11. 4.18	「江戸ばなし・洒落と滑稽Ⅰ」	松井 寿一
第33回	H.11. 6.27	「一枚の浮世絵から江戸を観る」	新藤 茂
第34回	H.11. 9. 1	「日本人の心と水」	清水 龍光
第35回	H.11.11.28	「江戸ばなし・洒落と滑稽Ⅱ」	松井 寿一
第36回	H.12. 2. 6	「酒を醸す・いきいき日本人」	高瀬 斉
第37回	H.12. 4.16	「数億年の眠りから起き上がる鮫」	香取 健二
第38回	H.12. 6. 4	「江戸ばなし・洒落と滑稽Ⅲ」	松井 寿一
第39回	H.12. 9. 2	「目から鱗が落ちる『江戸しぐさ』」	越川 禮子
第40回	H.12.11.19	「焼き芋の故里を探る話」	登 芳久
第41回	H.13. 2. 4	「四條流石井派包丁式」	山崎 睦男
第42回	H.13. 4. 8	「大江戸100万都市 『その町づくりと吉原今昔』」	石川 洋美
第43回	H.13. 7. 1	古代ガラスから現代に到る展望 「ガラス工芸の美しさを透して」	河上 恭一郎
第44回	H.13. 9. 9	「銀座今昔・路地から路地へ」	勝又 康雄

第 45 回	H.13.11.11	縄文から現代へ 「漆（うるし）」は語る	箱 瀬 淳 一
第 46 回	H.14. 1. 2	「雅楽」Ⅲ	安 倍 季 昌 三 田 徳 明
第 47 回	H.14. 3.31	「江戸の刷り物を読んでみよう」 ～仮名を八つだけ覚えれば読める！	吉 田 豊
第 48 回	H.14. 7.14	「室礼（しつらい）・我が家に 伝えられた美しい習慣」	山 本 三千子
第 49 回	H.14. 9. 8	禅尺八「心の本然の原野を 吹き抜けていく美しい魅力」	徳 山 隆
第 50 回	H.14.11.17	「器に込める『ぬくもり』の想い」	寺 内 信 二
第 51 回	H.15. 1.26	「伊勢の曙（あけぼの）」 「木遣りを唱う」	小 堀 邦 夫 木遣りの方 3 名
第 52 回	H.15. 3. 3	「大道芸今昔ものがたり」 物売口上から壮士節演歌師まで	福 岡 詩 二
第 53 回	H.15. 5.11	「しみじみ 500 年 和菓子は知っている」	中 山 圭 子
第 54 回	H.15. 9.28	「大奥に粛清の嵐が吹いた」	吉 田 豊
第 55 回	H.15.11.30	「日本の技がみえてくる」	森 本 安之助
第 56 回	H.16. 2. 1	あるけばあるくほど 「百景の空の下・物語は生まれる」	山 本 勝 美
第 57 回	H.16. 4. 4	「小石川村から春の寺めぐり」 お釈迦様の年齢を越えると	清 水 龍 光
第 58 回	H.16. 6.20	「美しい日本語」とは	川 和 孝 河 崎 早 春
第 59 回	H.16. 9.26	「書肆・須原尾茂兵衛」の一堂 江戸中期出版業の話	登 芳 久
第 60 回	H.16.12. 5	「色鍋島は何を語り伝えるのか」 有田今右衛門の伝統の粋	今 泉 善 雄
第 61 回	H.17. 1.30	「江戸学ではなく江戸楽」	越 川 禮 子
第 62 回	H.17. 4. 3	「竹田の子守歌の謎」	長谷川 龍 生
第 63 回	H.17. 6.19	「重ね地図で、昔も今も見えてくる」	小 島 豊 美
第 64 回	H.17.10. 2	秋の夜咄 「歴史の味覚は夜つくられる」	清 水 龍 光
第 65 回	H.17.12. 4	「神田通船屋敷と小山田興清」	登 芳 久

第66回	H.18. 2. 5	「江戸城内とっておきこぼれ譚」	吉 田 豊
第67回	H.18. 4. 9	「日本の風景を取り戻す」	山 本 紀 久
第68回	H.18. 6.18	「笑い与健康・今昔考」	松 井 寿 一
第69回	H.18.10. 1	「謎・なぞ・酉の市談義」	浮 島 恵 子
第70回	H.18.12. 3	「美しい手の至芸について」	立 川 真由美 箱 瀬 淳 一
第71回	H.19. 1.28	「伊勢神宮の式年遷宮とお木曳」 日本の心のふるさと	松 山 泰 久
第72回	H.19. 4. 8	「江戸から東京への和菓子」 和菓子の変遷・おいしさの秘密	松 本 慶 三
第73回	H.19. 7. 1	江戸の知恵「免疫力の向上」	松 井 寿 一
第74回	H.19. 9. 3	「神楽坂今昔」 うきうきもあり、 酷しくもあり	持 田 美枝子 (ぼたん姉さん)
第75回	H.19.12. 2	「宝船絵と湯島婦恋神社」	登 芳 久
第76回	H.20. 1.27	「どんつく、どんつく、 どどんがどん」	丸 一 扇 翁
第77回	H.20. 4. 6	「江戸しぐさ」は己を磨く	越 川 禮 子
第78回	H.20. 6.29	「木版画の魅力に出会う」	土 井 利 一
第79回	H.20. 9.28	「私と平家物語」	岡 崎 和 彦 阿 部 敏 行
第80回	H.20.11.30	「万世一系」皇祖の向こう側	長谷川 龍 生
第81回	H.21. 2. 1	「2009年、浅草の灯は 消えていない」	悠玄亭 玉 八
第82回	H.21. 4. 5	「江戸のにぎわい」(元禄花見踊り他)	吉 田 豊
第83回	H.21. 6.28	「わが世阿弥の寂しい最後」	長谷川 龍 生
第84回	H.21.10. 4	「江戸時代から現代まで」 ものの見方を新しく・・・	落 合 大 海
第85回	H.21.11.29	「日本の雅楽がつなぐアジア」	三 田 徳 明
第86回	H.22. 1.31	「江戸歌舞伎よもやま大全」	西 山 貢
第87回	H.22. 4. 4	「日本の酒米の最高峰-山田錦-で 造ったお酒と健康について」	本 田 武 義
第88回	H.22. 6.27	「声・こえ・コエの千夜一夜」	笠 井 幹 男
第89回	H.22. 9.26	遥かにしてそれでも身近にある 「スペインのかまどから」	渡 辺 万 里
第90回	H.22.11.28	「日本の畳文化はなん百年も続いた」	荒 井 将 佳
第91回	H.23. 1.30	太刀の輝きを後世に伝える 「祈りのかたち」	宮入小左衛門行平

第 92 回	H.23. 9.25	「江戸の笑いと健康」	松 井 寿 一
第 93 回	H.23.11.27	「むすぶ、おる、もちる、 組む、からめる、捲く」	本 間 一 恵
第 94 回	H.24. 1.29	「歌舞伎文字勘亭流」の様々	古 賀 司 郎
第 95 回	H.24. 4. 8	<揺れ><振動>を熟知する 「いつかくる不安と おびえに備える心」	前 川 康
第 96 回	H.24. 6.24	「スズメ蜂の社会的絆を司る VAAM とその機能」 -日本の心のふるさと-	阿 部 岳
第 97 回	H.24.12. 2	「城をよみがえらせる」 復元設計の作業と問題点	前 川 康
第 98 回	H.25. 2. 3	「江戸庶民文化のうらおもて」	一龍齋 貞 心
第 99 回	H.25. 4.14	「米の酒は米の味を 基本とした酒づくり」	本 田 武 義
第 100 回	H.25. 6.23	「日本人の魂の在所」	河 合 真 如
第 101 回	H.25.12. 1	「日本漆紀行」	室 瀬 和 美
第 102 回	H.26. 2. 2	「浮世絵と摺り師のことなど」	土 井 利 一 朝 香 元 晴
第 103 回	H.26. 4. 6	「琵琶の音曲の調べを尋ねて」	須 田 誠 舟
第 104 回	1726.6.22	「平山柳丈先生と寄心の旅路」	後 藤 太